

おたふくかぜワクチンの予約一時停止について

令和3年4月13日午後より、おたふくかぜワクチンの予約を一時停止しています。
おたふくかぜワクチンの一時的な生産量の低下に伴い、ワクチンの入荷が中断しているためです。

今のところ再入荷の時期は未定です。また同ワクチンの安定的な供給がされるのは令和3年10月以降となりそうです。

おたふくかぜワクチンの1回目は1歳になったら、2回目は小学校入学の前の学年（年長の学年）での接種が推奨されています。

当院でも通常1歳になったら定期接種である麻疹風疹ワクチン、水痘ワクチンを接種するときにおたふくかぜワクチンの同時接種をお勧めしています。

おたふくかぜは髄膜炎や難聴を引き起こす可能性のある、予防接種をおこなう価値の高い感染症です。1歳になったら早めにワクチン接種をおこなうことが勧められますが、2歳未満の子どもは、感染しても発症しないか発症しても軽いことが多く、半年程度接種が遅れることについては大きな問題はないと思います。1歳6ヶ月頃に接種をする4種混合ワクチンの追加接種時や2歳頃に接種をお勧めしている水痘ワクチンと同時接種をされるとよいと思います。

当院において通常おたふくかぜワクチンの2回目は麻疹風疹ワクチンと同時接種をお勧めしています。

2回目の接種は1回接種では不十分な免疫力を強化するための接種であり、あえて1回目から間隔をあけて接種します。そのため半年程度接種が遅くなること自体は全く問題ありません（1回目との間隔が5年あくのと5年半あけることでは違いはありません）。ただし、麻疹風疹ワクチンと同時に接種をする機会を逃すと、おたふくかぜワクチンを接種し忘れる可能性があります。小学校入学前などの機会に予防接種が完了しているか、お気をつけください。

令和3年4月14日 さかたこどもクリニック 坂田 顕文